

No.	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
1432	妹	田沼白雪	一般審査員A	16	15	14	14	14	78	73
1432	妹	田沼白雪	一般審査員B	15	14	15	14	16	78	74
1432	妹	田沼白雪	一般審査員C	19	19	18	16	18	78	76
1432	妹	田沼白雪	一般審査員D	18	16	19	17	18	78	76
1432	妹	田沼白雪	一般審査員E	17	16	17	16	17	78	82
1432	妹	田沼白雪	一般審査員F	18	16	16	15	17	78	82
1432	妹	田沼白雪	一般審査員G	15	17	16	16	10	78	71
1432	妹	田沼白雪	一般審査員H	18	18	17	16	17	78	86
1432	妹	田沼白雪	一般審査員I	13	11	10	10	12	78	56
1432	妹	田沼白雪	一般審査員J	18	18	16	14	19	78	87
			合計	167	160	160	142	160	786	
1434	腹いせ	田沼白雪	一般審査員A	16	15	16	15	14	76	76
1434	腹いせ	田沼白雪	一般審査員B	14	14	14	14	15	76	71
1434	腹いせ	田沼白雪	一般審査員C	18	18	17	16	17	76	85
1434	腹いせ	田沼白雪	一般審査員D	16	15	17	16	17	76	82
1434	腹いせ	田沼白雪	一般審査員E	17	16	17	16	16	76	82
1434	腹いせ	田沼白雪	一般審査員F	17	16	16	15	16	76	80
1434	腹いせ	田沼白雪	一般審査員G	14	15	18	14	15	76	66
1434	腹いせ	田沼白雪	一般審査員H	19	18	18	16	14	76	86
1434	腹いせ	田沼白雪	一般審査員I	12	13	11	12	13	76	61
1434	腹いせ	田沼白雪	一般審査員J	16	16	14	16	19	76	81
			合計	160	156	158	148	158	760	
1416	入っちゃった笑	猫料理	一般審査員A	15	14	14	15	14	72	72
1416	入っちゃった笑	猫料理	一般審査員B	15	15	15	15	16	72	77
1416	入っちゃった笑	猫料理	一般審査員C	20	18	16	16	20	72	80
1416	入っちゃった笑	猫料理	一般審査員D	16	14	17	17	15	72	79
1416	入っちゃった笑	猫料理	一般審査員E	17	16	17	19	16	72	86
1416	入っちゃった笑	猫料理	一般審査員F	15	16	15	17	15	72	78
1416	入っちゃった笑	猫料理	一般審査員G	16	16	17	16	17	72	82
1416	入っちゃった笑	猫料理	一般審査員H	12	11	11	15	13	72	62
1416	入っちゃった笑	猫料理	一般審査員I	13	12	11	15	15	72	63
1416	入っちゃった笑	猫料理	一般審査員J	18	15	15	14	16	72	78
			合計	157	147	146	160	154	766	
1412	友人との約束	祝魚	一般審査員A	15	16	15	16	15	77	77
1412	友人との約束	祝魚	一般審査員B	16	15	15	16	15	77	78
1412	友人との約束	祝魚	一般審査員C	18	18	18	18	16	77	86
1412	友人との約束	祝魚	一般審査員D	16	15	14	15	17	77	78
1412	友人との約束	祝魚	一般審査員E	17	17	17	17	16	77	86
1412	友人との約束	祝魚	一般審査員F	16	15	15	16	15	77	77
1412	友人との約束	祝魚	一般審査員G	17	15	7	13	13	77	64
1412	友人との約束	祝魚	一般審査員H	17	15	15	15	16	77	78
1412	友人との約束	祝魚	一般審査員I	14	11	10	12	11	77	58
1412	友人との約束	祝魚	一般審査員J	16	15	14	17	13	77	76
			合計	162	152	139	155	146	754	
1411	パン屋さんのトング	祝魚	一般審査員A	15	14	14	14	14	74	74
1411	パン屋さんのトング	祝魚	一般審査員B	15	15	15	14	15	74	74
1411	パン屋さんのトング	祝魚	一般審査員C	16	18	16	18	16	74	81
1411	パン屋さんのトング	祝魚	一般審査員D	14	15	16	15	16	74	78
1411	パン屋さんのトング	祝魚	一般審査員E	16	17	17	17	18	74	81
1411	パン屋さんのトング	祝魚	一般審査員F	17	17	17	17	18	74	81
1411	パン屋さんのトング	祝魚	一般審査員G	3	17	15	12	15	74	57
1411	パン屋さんのトング	祝魚	一般審査員H	11	11	15	15	15	74	66
1411	パン屋さんのトング	祝魚	一般審査員I	12	11	10	12	13	74	58
1411	パン屋さんのトング	祝魚	一般審査員J	15	15	16	18	16	74	82
			合計	134	143	154	160	152	743	
1424	春豚	麗紙	一般審査員A	16	16	15	14	14	75	75
1424	春豚	麗紙	一般審査員B	14	14	14	14	14	75	70
1424	春豚	麗紙	一般審査員C	19	18	16	16	16	75	80
1424	春豚	麗紙	一般審査員D	13	14	17	16	16	75	76
1424	春豚	麗紙	一般審査員E	16	16	17	16	16	75	81
1424	春豚	麗紙	一般審査員F	16	15	16	16	16	75	80
1424	春豚	麗紙	一般審査員G	15	16	16	17	16	75	80
1424	春豚	麗紙	一般審査員H	12	12	13	12	13	75	62
1424	春豚	麗紙	一般審査員I	12	11	11	10	12	75	56
1424	春豚	麗紙	一般審査員J	16	15	13	13	17	75	74
			合計	149	147	148	144	151	739	

No.	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
1419	鍵を差す前の声	麗紙	一般審査員A	16	16	15	15	15	77	なにか怪しい、れいな恐怖の始りを予感させるような怪談。かみいんの自分の声かそれとも他人なのか。なにがドッペルゲンガーのようなものかもしれない。長巻怪談の冒頭のようでもある。また、もう、という点ではあまり評語ではないが、ちやほちやとくさるような「おまえ」は確かにある。あんなに面白くない。だ、ふん、それで？ それがどうしたの？ というような怪談ではない。ただ、もう少しまじりかかるとかもしれない。冒頭でもあり、完結もなしという風になる、こちらも拍手するような短編怪談になるのではなからうか。
1419	鍵を差す前の声	麗紙	一般審査員B	14	14	14	15	14	75	異世界の話でしようか、自分の声だったとありますが、その声は本当に自分の声だったのでしょうか。自分話をする別の人がたまたま想像すると、その目的はなんなのかなと恐怖に陥ります。とても良い設定だと思いました。異世界に入り込むという設定は、それだけでも面白いです。でも、かみいんのあんな面白くない。だ、ふん、それで？ それがどうしたの？ というような怪談ではない。ただ、もう少しまじりかかるとかもしれない。冒頭でもあり、完結もなしという風になる、こちらも拍手するような短編怪談になるのではなからうか。
1419	鍵を差す前の声	麗紙	一般審査員C	19	18	16	16	17	86	異世界に迷い込んでしまっ系でしようか、信号機の点滅や看板の色の違いや、不安感が伝わってきました。自分の家の中で待って構えている一体なんなのかな、とても気になります。
1419	鍵を差す前の声	麗紙	一般審査員D	16	14	17	17	18	82	異世界の話でしようか、自分の声だったとありますが、その声は本当に自分の声だったのでしょうか。自分話をする別の人がたまたま想像すると、その目的はなんなのかなと恐怖に陥ります。とても良い設定だと思いました。異世界に入り込むという設定は、それだけでも面白いです。でも、かみいんのあんな面白くない。だ、ふん、それで？ それがどうしたの？ というような怪談ではない。ただ、もう少しまじりかかるとかもしれない。冒頭でもあり、完結もなしという風になる、こちらも拍手するような短編怪談になるのではなからうか。
1419	鍵を差す前の声	麗紙	一般審査員E	18	16	17	17	16	84	異世界の話でしようか、自分の声だったとありますが、その声は本当に自分の声だったのでしょうか。自分話をする別の人がたまたま想像すると、その目的はなんなのかなと恐怖に陥ります。とても良い設定だと思いました。異世界に入り込むという設定は、それだけでも面白いです。でも、かみいんのあんな面白くない。だ、ふん、それで？ それがどうしたの？ というような怪談ではない。ただ、もう少しまじりかかるとかもしれない。冒頭でもあり、完結もなしという風になる、こちらも拍手するような短編怪談になるのではなからうか。
1419	鍵を差す前の声	麗紙	一般審査員F	15	15	16	16	16	78	怖さよりも、不思議な点を感じる話。予感、異世界のお話になるのではなからうか。異世界というよりも、パラレルワールドか。いつもの帰り道なのか、角を曲がった途端、突然感じる違和感。異世界に入り込んだ話で、よく聞くの、周りや他人に気がつくならない、とか、昔が聞かなくなったというもので、自分の家のすぐそばで、おかしな現象が起きているという。おかしな現象を差込んだ間際に自分の声で「おかし」って中から聞こえてくるのも奇妙で不思議ですね。
1419	鍵を差す前の声	麗紙	一般審査員G	7	13	10	10	10	60	パラレルワールドへの迷い込み、もしくは異世界に移ってしまった類のお話です。不思議な点を感じる話。予感、異世界のお話になるのではなからうか。異世界というよりも、パラレルワールドか。いつもの帰り道なのか、角を曲がった途端、突然感じる違和感。異世界に入り込んだ話で、よく聞くの、周りや他人に気がつくならない、とか、昔が聞かなくなったというもので、自分の家のすぐそばで、おかしな現象が起きているという。おかしな現象を差込んだ間際に自分の声で「おかし」って中から聞こえてくるのも奇妙で不思議ですね。
1419	鍵を差す前の声	麗紙	一般審査員H	15	15	15	13	10	68	異世界の話でしようか、自分の声だったとありますが、その声は本当に自分の声だったのでしょうか。自分話をする別の人がたまたま想像すると、その目的はなんなのかなと恐怖に陥ります。とても良い設定だと思いました。異世界に入り込むという設定は、それだけでも面白いです。でも、かみいんのあんな面白くない。だ、ふん、それで？ それがどうしたの？ というような怪談ではない。ただ、もう少しまじりかかるとかもしれない。冒頭でもあり、完結もなしという風になる、こちらも拍手するような短編怪談になるのではなからうか。
1419	鍵を差す前の声	麗紙	一般審査員I	12	11	10	10	10	65	異世界に迷い込んでしまっ系でしようか、信号機の点滅や看板の色の違いや、不安感が伝わってきました。自分の家の中で待って構えている一体なんなのかな、とても気になります。
1419	鍵を差す前の声	麗紙	一般審査員J	18	15	15	15	18	81	パラレルワールドへの迷い込み、もしくは異世界に移ってしまった類のお話です。不思議な点を感じる話。予感、異世界のお話になるのではなからうか。異世界というよりも、パラレルワールドか。いつもの帰り道なのか、角を曲がった途端、突然感じる違和感。異世界に入り込んだ話で、よく聞くの、周りや他人に気がつくならない、とか、昔が聞かなくなったというもので、自分の家のすぐそばで、おかしな現象が起きているという。おかしな現象を差込んだ間際に自分の声で「おかし」って中から聞こえてくるのも奇妙で不思議ですね。
合計				150	147	146	143	145	731	

No.	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
1420	母の声	麗紙	一般審査員A	16	16	15	15	16	79	なかなかよくまとまっている。「懐かしくて、胸が詰まる」で感動的な展開に引きつけてからの不気味な結末。短い時間の中で二つの感情が味わえるお母さん知能になっていくことを詳細に描いた。この話も、単に母親をなくした息子Aが母をよそよそしく愛しているだけの話にも感じられる。お母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1420	母の声	麗紙	一般審査員B	15	14	14	14	14	71	亡くなったお母様を恋しく思うの期間について恐怖の事象、良いですね。お母様のセリフのチョイスが、生前の母の何気ない生活のコマを彷彿とさせます。アスルメの音が母の足音に聞こえるように聞こえるのが、お母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1420	母の声	麗紙	一般審査員C	19	19	16	16	16	88	懐かなくなったお母様と母からの電話。話を聴くことからは明らかな違和感を感じて、お母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1420	母の声	麗紙	一般審査員D	18	16	14	14	16	79	読み続けると心臓がどん、と鼓く響くような感じがしました。短い時間の中でゆたかりしほやノスタルジックな雰囲気から、徐々に不穏になり突然結末に突き飛ばされるような描写が印象的でした。懐かしい声はほんの僅かな違和感に気がつくものだと思います。電話の向こう側にどんな存在がいたのか、お母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1420	母の声	麗紙	一般審査員E	17	16	16	16	17	82	「おまえ」という人が、同じメンバーで面白い話を話してきたか？自分が覚えていないだけで、お母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1420	母の声	麗紙	一般審査員F	16	15	15	15	16	77	亡くなったお母様を恋しく思うの期間について恐怖の事象、良いですね。お母様のセリフのチョイスが、生前の母の何気ない生活のコマを彷彿とさせます。アスルメの音が母の足音に聞こえるように聞こえるのが、お母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1420	母の声	麗紙	一般審査員G	7	5	5	8	15	40	これは私には少し難解なお話でした。お話の中の良い違和感もさきりあるし、怖さを感じるものもありません。話の構成が「おまえ」の違和感から始まり疑問が先に来ましたが、文体的に詳しくしてしまおうと雰囲気も崩れてしまっ系で、あえて唐突なのだと思うのですが、私としてはもう少し詳しくしてほしかった感じがしました。今はお母さんの着信で唐突な緊張感、徐々に緊張がたまっていく感じが、お母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1420	母の声	麗紙	一般審査員H	13	12	13	13	11	63	怖さ、亡くなったお母様から電話がかかって来る。しかし、その中には妙な違和感があり、着信履歴を見てもそこには。誰かに一定の怖さはあるんですが、難解なものを感じませんでした。結局何だったんだ？という疑問が先に立ちます。おまえ、状況説明が少し足りない、主人公が違和感に気づいたのか、お母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1420	母の声	麗紙	一般審査員I	12	11	12	10	11	66	亡くなったお母様からの着信があったって話はいくつかありますが、着信に出たらこんな感じなのかなって思いました。最後の「おまえ」というのはどういうことなのかな？私も一度だけ亡くなったお母様からの着信があったことがあります。電話には出られなかったのですが、もし出ることであればいいかなって思っています。お母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1420	母の声	麗紙	一般審査員J	18	15	15	15	17	80	おまえって誰さかという思いながらもなくなった主人公の母親を失った誰かが主人公を何処かへ連れ去ったという悪い予感を感じた感じが面白くなって良かった
合計				151	139	136	137	149	712	

No.	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
1394	品出し業務	那由多	一般審査員A	15	14	14	14	14	72	物を置かなければいいのでは？とシンプルに思った。置いておけばいいか？と聞かれたら、お母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1394	品出し業務	那由多	一般審査員B	15	14	13	16	14	72	先が暗い設定ではあるものの、最後は人間で終わるのは意外でした。その中で、くすりや笑ってしまおうと怪談とギャグがあっただけで、お母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1394	品出し業務	那由多	一般審査員C	16	14	18	16	16	80	下段の間に住みかかっているものの正体が気になります。その先陣は正体を知っているのか？こちらが気になります。
1394	品出し業務	那由多	一般審査員D	18	17	17	16	15	83	店舗が自らの中から出てくるのは、最後は人間で終わるのは意外でした。その中で、くすりや笑ってしまおうと怪談とギャグがあっただけで、お母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1394	品出し業務	那由多	一般審査員E	18	16	16	18	17	85	陳列棚に空気があると、妙な埋めたくなるのはなぜだろう？空気に何かを置いたくなるのは、人間の本能的な傾向らしいが単純にもったいないとか、人間が嫌いだとか、それそれのものだと思っ。カッパを置いたのは下段というところで目撃者という表がでてくる。陳列棚の奥を覗く時に目があったら、何かいたらと思う時がある。そんな感じがしていいかなって思っています。今回は、手が伸びてきたけど、置いておけばいいかなって思っています。お母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1394	品出し業務	那由多	一般審査員F	16	15	15	16	15	78	実際に自分が体験してしまっ系は怖いかもしれない。スーパーに限らず、CDショップ、とか、陳列棚に置かれた怪談は少なからずあるような気がする。陳列棚に置かれたお母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1394	品出し業務	那由多	一般審査員G	5	9	13	18	5	50	何かわからぬんですが、コシカに感じたのでユーモア点を多めに付けました。おまえは良かれと思つたのに、謎の存在に「やめ！」と言われればお母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1394	品出し業務	那由多	一般審査員H	11	10	10	12	10	63	構成は上手くまとまっている感じが良かったです。怪談として成立もしています。ただ、全体的に置いておけばいいかなって思っています。お母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1394	品出し業務	那由多	一般審査員I	13	12	12	10	11	68	なんでも置いておけばいいかなって思っています。お母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1394	品出し業務	那由多	一般審査員J	15	16	14	16	18	79	結局、手は、何だっただらうという思いと、同様にちゃんと説明しないスーパーの同僚も嫌な感じがする話です。
合計				142	137	142	153	135	706	

No.	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
1417	酔い醒シ	ばさらん	一般審査員A	15	14	14	14	14	71	単にお酒に酔って別人と間違えてるだけだった。全然面白くない。しかし、そういうことではない、ということと派石のついで、「俺」が忘れていた話があるが、そういうことではない。お母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1417	酔い醒シ	ばさらん	一般審査員B	16	15	16	15	16	79	この構図の知らない恐怖は、なかなかいいです。お母さんの記憶が改ざんされているのか、俺の記憶違いなのか、・・・心算ポイントに突進して行ったのは、果たしてどっちなのでしょう。それとも、どちらも行っていい「色々バカ」を覚えてきて、正体が明らかになっていく。お母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1417	酔い醒シ	ばさらん	一般審査員C	16	16	16	16	16	80	どうしてその記憶の記憶が無いのか確認して欲しかった。それに記憶を消されてしまったか？
1417	酔い醒シ	ばさらん	一般審査員D	13	14	15	16	13	71	面白くない話だと思いきや、小説にもなる書き方で今回はあまり面白くない話ではない話がありました。自然な会話の想像から、Aが話している話から聞いた話だとすぐ気付かれます。その違和感から、最後は怖いと思わず部分で恐怖を感じられませんでした。
1417	酔い醒シ	ばさらん	一般審査員E	17	16	16	18	16	83	これは、たまたまの偶然とでもいっていい話。酔っ払いの時に居た怪談を、お母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1417	酔い醒シ	ばさらん	一般審査員F	14	14	14	14	16	74	友達を教めながら怖い話をしたり、怪談をあだだこと考案したりするのは楽しい。お酒に酔った上で話したら不確実な記憶、という話は考えられるけれど、自分が話した事もない話、あなたから聞いたんだよ、と言われるとちょっと怖い。けど、お母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1417	酔い醒シ	ばさらん	一般審査員G	3	3	3	3	3	24	置かれたお母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1417	酔い醒シ	ばさらん	一般審査員H	12	12	12	13	14	66	構築感ありながら怪談として成立している、なかなか上手なまとめられ無いです。ただ、話の流石に命題のあり、怖さは感じられます。鋭さ、友人と友達で話したお母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1417	酔い醒シ	ばさらん	一般審査員I	13	12	12	10	11	68	構築感ありながら怪談として成立している、なかなか上手なまとめられ無いです。ただ、話の流石に命題のあり、怖さは感じられます。鋭さ、友人と友達で話したお母さんが生きていたか、まじりかかるとかもしれない。おまえ、というとは自分からの電話だということだろうか。母親を失った息子が自分できちんとかきやわらせてしまっている可能性や、何かしら怪談が関係している可能性、いずれにせよ、まじりかかるとかもしれない。
1417	酔い醒シ	ばさらん	一般審査員J	17	16	15	18	18	84	主人公になります。主人公が相手とした話のなかのいい怪談の面白さというよりもその事象に怖さを感じることもありました。
合計				136	132	132	151	140	691	